

2019年11月29日

各位

早稲田大学との「持続可能な未来社会実現」に向けたイノベーション推進のための包括連携活動に関する協定書の締結および共同連携拠点「ENEOSラボ」の設置について

当社（社長：大田 勝幸）は、学校法人早稲田大学（総長：田中 愛治、以下「早稲田大学」）と「持続可能な未来社会実現」に向けたイノベーション推進のための包括連携活動に関する協定書（以下「本協定」）を本日締結しました。またこれに併せて、早稲田大学キャンパス内に建設中の新棟に「ENEOSラボ」を設置することとなりましたので、お知らせいたします。

当社と早稲田大学は、2010年から材料分野を中心に共同研究創出を目的とした技術シーズの探索を続けてまいりました。本協定の締結は、これまでの連携を強化し、包括的で分野横断的なオープンイノベーションを実行し、低炭素化をはじめとした様々な社会課題に対応していくことを目的としております。

具体的な取り組みとして、まずは早稲田大学が建設中の121号館内に「ENEOSラボ」を設置し、主にCO₂からの燃料・化学品製造技術の開発といった「CO₂削減に向けた革新技術の研究」に取り組めます。さらに、オープンイノベーション戦略研究機構^{※1}などにおける共同研究の加速、卓越大学院^{※2}での人材育成活動などについて連携を深めてまいります。

早稲田大学が有する多様な分野での豊富な人材と組織体制、実用化を見据えた広範かつ最先端の研究実績などの強みと、エネルギーのリーディングカンパニーとしてエネルギー変換技術や社会実装に関する経験を有する当社の強みを生かし、低炭素化に向けた技術開発などの研究を推進してまいります。

当社はJXTGグループの長期ビジョンにおいて、2040年のありたい姿として「事業構造の変革による価値創造」を掲げており、本協定をはじめオープンイノベーションの積極的な推進を通じて、革新的な技術・事業の創出を目指してまいります。

※1 早稲田大学は、文部科学省の2018年度公募事業である「オープンイノベーション機構の整備事業」に採択され、それを受けて、オープンイノベーションを推進する全学的な組織として、オープンイノベーション戦略研究機構を設立。

早稲田大学「オープンイノベーション戦略研究機構」<https://www.waseda.jp/inst/oi/>

文部科学省「オープンイノベーション機構の整備事業」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/openinnovation/index.htm

※2 文部科学省「卓越大学院プログラム」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/takuetudaigakuin/index.htm

早稲田大学の「パワー・エネルギー・プロフェッショナル（PEP）育成プログラム」は、2018年10月に「卓越大学院プログラム」に採択され、13大学および産業界（当社を含む）が連携しながらエネルギー新産業創出のための実践的な研究教育を行っている。



とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<包括連携活動に関する協定書の概要>

| | |
|--------------|--|
| 期間 | 締結日から5年間（期間延長については都度協議） |
| 連携体制 | 双方のメンバーから構成されるガバナンス委員会を新たに設置し連携活動を統括 |
| 目的・狙い | エネルギーの低炭素化等、社会課題解決に貢献する革新的技術を分野横断的に開発 |
| 協定締結以前の研究テーマ | 高機能材料（成形材料、発光材料、次世代蓄電池材料）、水素製造用触媒、省エネルギー分離技術 等 |

<ENEOSラボの概要>

| | |
|----------------------|---|
| 所在地 | 早稲田大学早稲田キャンパス内 121号館3階 |
| 主な研究対象 | CO ₂ 削減に向けた革新技術（CO ₂ からの燃料・化学品製造技術など） |
| 完成イメージ （提供：早稲田大学） |  |

以 上